

国際啄木学会 2012年台北大会プログラム

主催：国際啄木学会（共催：台湾国際啄木学会、後援：台湾大学日本語文学系）

大会テーマ：啄木没後100年・明治の終焉から大正へ

開催地：国立台湾大学（台北市）文学院演講ホール

開催日：2012年5月12日（土）

- 08：45～09：00 受付
- 09：00～09：20 開幕式
- 09：20～10：00 講演① 林丕雄（淡江大学名誉教授）「石川啄木研究の今後の可能性」
- 10：05～10：25 【休 息】
- 10：25～11：10 啄木詩歌の朗読会（台湾大学の学生と学会員の交流）と二胡の演奏
- 11：15～11：55 講演② 太田登（台湾大学教授）「啄木没後100年の歴史的意義について」
- 12：00～12：40 昼 食
- 14：00～14：20 研究発表①劉怡臻（台湾大学修士課程2年）「啄木詩歌と李商隱」
- 14：20～14：40 研究発表②スレイメノヴァ・アイーダ（ロシア・極東連邦大学准教授）
「与謝野夫妻と石川啄木—人生、作品の共通点と相違点をめぐって—」
- 14：40～15：00 総合討論
- 15：00～15：20 【休 息】
- 15：20～15：40 研究発表③安元隆子（日本大学教授、学会理事）
「石川啄木受容の系譜—金子文子歌集『獄窓に想ふ』と『啄木歌集』—」
- 15：40～16：00 研究発表④西脇巽（生協さくら病院名誉院長、学会評議員）
「家庭内精神力動—石川家、堀合家、宮崎家の場合—」
- 16：00～16：20 総合討論
- 16：20～16：30 全体講評
- 16：30～16：40 閉幕式

「石川啄木逝世百年紀念展」（5月7日～20日）が台湾大学図書館1階期刊区で開催されます。